



「予想以上のスピードに大歓声」

2月13、14の両日に行われた、摩周ウインターフェスタ2010での一コマです。毎年大人気の、雪と氷でできたジャンボ滑り台。今年は、レーンが2本にバージョンアップして、より楽しむことができました。  
(関連記事19ページ)

◇主な内容

- 弟子屈市街地を整備します……………②
- 第35回児童生徒読書感想文コンクール…⑥
- 3月は町税滞納整理強調月間です…⑧
- 臨時職員を募集します……………⑨
- 夜間納税窓口開設のお知らせ……………⑫

てしかがが歴史写真館 107  
むかしむか史



五衛門風呂

弟子屈市街では、温泉旅館のお風呂でもらい湯をしたり、温泉の共同浴場がありました。市街地から離れた開拓地では、五衛門風呂が一日の疲れと体の汚れを取ってくれました。

五衛門風呂の名前は、安土桃山時代の盗賊・石川五衛門が釜ゆいで処刑されたことからといわれ、あまりいい気持ちのするものではありません。

鉄製や鋳鉄製でできた釜をレンガや石で囲い、下の焚口(たきぐち)で薪(まき)を燃やして水を温めます。スノコが浮かんでいて、足で沈めながらお湯につかります。体を洗うところは、釜の外的一段低い場所に作ってある洗い場です。

「いい湯加減」「お風呂を点(た)てる」「お風呂をごちそうになる」などの言葉があります。水を運び、薪を割り、水を温める。入浴中はつきっきりで火力を調整する、などの作業は大変な仕事で、お風呂を用意してくれた人への感謝の気持ちがこもった言葉です。それぞれの家に風呂があり、ボイラーなどで沸かしたお湯が蛇口から出てくる今では、あまり聞くことがなくなった言葉です。

てしかがが郷土研究会 (松橋)